

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和7年2月17日(2025.2.17)

【公開番号】特開2023-92904(P2023-92904A)

【公開日】令和5年7月4日(2023.7.4)

【年通号数】公開公報(特許)2023-124

【出願番号】特願2021-208207(P2021-208207)

【国際特許分類】

A 63 F 7/02 (2006.01)

10

【F I】

A 63 F 7/02 320

【手続補正書】

【提出日】令和7年2月6日(2025.2.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、

通常状態と、該通常状態よりも可変表示が実行されやすい特別状態に制御可能な状態制御手段と、

音出力手段と、

演出を実行可能な演出制御手段と、を備え、

前記演出制御手段は、

前記通常状態に制御されているときに、前記有利状態に制御されるよりも前に前記有利状態に制御されることを報知する第1報知音を前記音出力手段から出力可能であり、

前記特別状態に制御されているときに、前記有利状態に制御されるよりも前に前記有利状態に制御されることを報知する第2報知音を前記音出力手段から出力可能であり、

前記第1報知音は、特殊加工された特殊セリフ音と、特殊効果音とで構成されている一方で、前記第2報知音は、特殊加工されていない特定セリフ音と、特定効果音とで構成されており、

前記第1報知音の出力期間は、前記第2報知音の出力期間よりも長く、

前記演出制御手段は、第1リーチ演出が実行されるときと第2リーチ演出が実行されるときとで、異なる様様の前記第1報知音を前記音出力手段から出力可能である、  
ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

30

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0002

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0002】

従来より、大当たり報知演出を備えた遊技機があった。

【手続補正3】

40

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0003

【補正方法】変更

50

【補正の内容】

【0003】

【特許文献1】特開2015-211759号公報

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

特許文献1に記載されたような演出が実行される遊技機に関しては、改良の余地があつた。 10

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

この発明は、上記の実状に鑑みてなされたものであり、興趣を向上させることを目的とする。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本手段の遊技機は、

遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であつて、

通常状態と、該通常状態よりも可変表示が実行されやすい特別状態に制御可能な状態制御手段と、

音出力手段と、

演出を実行可能な演出制御手段と、を備え、

前記演出制御手段は、

前記通常状態に制御されているときに、前記有利状態に制御されるよりも前に前記有利状態に制御されることを報知する第1報知音を前記音出力手段から出力可能であり、

前記特別状態に制御されているときに、前記有利状態に制御されるよりも前に前記有利状態に制御されることを報知する第2報知音を前記音出力手段から出力可能であり、

前記第1報知音は、特殊加工された特殊セリフ音と、特殊効果音とで構成されている一方で、前記第2報知音は、特殊加工されていない特定セリフ音と、特定効果音とで構成されており、

前記第1報知音の出力期間は、前記第2報知音の出力期間よりも長く、

前記演出制御手段は、第1リーチ演出が実行されるときと第2リーチ演出が実行されるときとで、異なる様様の前記第1報知音を前記音出力手段から出力可能である、

ことを特徴とする。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

このような構成によれば、興趣を向上できる。

20

30

40

50